

○根太受材(横架材)が「1間」の場合は、角根太(カ根太)・割根太を架設する。角根太(カ根太)は床組を補強や床板継目に使用され間隔は普通「1間」間隔に架設することが多い。角根太(カ根太)の寸法は120～90mm(4～3寸)位で押角材が使われている。現在はあまり使用されなくなった。

割根太は、角根太を半割した材料で寸法は $120/2 \times 120 \sim 90/2 \times 90$ mm(4～3寸の2割)位が使われている。⊕例として $120/2 \times 120$ mmと 60×120 mm.との材積は同じだが幅の違いがあること。根太受材(横架材)と根太(角根太)を欠ぎ込みとし渡りあごの仕口とする。

施工に付いては床板(仕上げ材)の厚さ等に注意し、特にレベル(水平)高低差に注意する事。

- 床板～(畳敷込等の下地板のみ)

床下地板-----1階床組(床下地板)に準ずる。

- 階段踊場材

階段踊場の下地材、踊場受梁(構造的には差桁)・根太掛け・根太等を2階床組、(水平グループ)の位置とは違うが、2階床組材拾い出しに必ず拾い出しておくこと。